



# 石巻港復興だより第23号

(石巻港湾ひばりの通信46号)  
— 港湾は人の心も結んでいます —

## 第16回 港湾感謝祭が開催されました



開会式風景



関係企業の宣伝ブースなどで賑わう会場

第16回港湾感謝祭が平成29年9月30日（土）に大手ふ頭で開催されました。当日は天候にも恵まれ、幅広い年代の方々に御来場いただきました。

開港50周年となる今年は、過去最多となる3隻の船が公開され、海を調べる船としてJAMSTECの東北海洋生態系調査研究船「新青丸」、海を学ぶ船として県の海洋総合実習船「宮城丸」、そして海を守る船として宮城海上保安部の巡視船「くりこま」への乗船見学が行われました。この3隻が同時に集まるのは珍しく、注目度が高かったこともあり、県内外から900人を超える方々が来場し乗船しました。また、当事務所のブースでは、石巻港の施設概要や役割などについて理解と関心を持っていただけるよう、石巻港に関するクイズの出題やパネル展示を行いました。

50周年の節目の年ということで、閉会式前には、宮城丸からの餅まきが行われ、来場の皆さんへ盛大に振るまわれました。



当事務所ブースでクイズにトライする来場者



宮城丸からの餅まき

## ウェルカムフェスタ2017★客船「飛鳥Ⅱ」入港

### ■客船「飛鳥Ⅱ」入港



歓迎式典

平成29年10月26日（木）、開港50周年を記念する年に寄港する最後の客船として、「飛鳥Ⅱ」（総トン数50,142 t、全長241m）が雲雀野（ひばりの）中央ふ頭に入港しました。今回は、初寄港となった平成29年6月に続いて2度目の入港となりました。台風の影響でクルーズ行程が大幅に変更となった「飛鳥Ⅱ」でしたが、台風一過の秋晴れの下、大漁旗でお迎えし、歓迎式典では船長へ花束や地場産品などの贈呈を行い、女川若獅子会による獅子振りを披露しました。

会場には「笹かまぼこ」の無料提供ブース等が設けられ、また石巻市イメージキャラクター「いしぴょん」を始めとした地元のゆるキャラ達も登場し、石巻圏域の魅力ある観光や物産を紹介しました。

出港セレモニーでは、女川中学校吹奏楽部の演奏の下、紙テープやペンライトでお見送りしました。

平成30年度にもダイヤモンドプリンセスをはじめ、多くの客船の寄港が予定されております。石巻港が今後も発展していくものと期待しております。



女川若獅子会による獅子振り



女川中学校吹奏楽部による演奏



紙テープが舞う中、出港する「飛鳥Ⅱ」

## 保安総合訓練を実施しました

平成29年度仙台塩釜港（石巻港区）保安総合訓練を平成29年12月5日（火）に雲雀野（ひばりの）北ふ頭と周辺水域で実施しました。

この訓練はSOLAS条約（「海上における人命の安全のための国際条約」）に基づき、港湾における保安対策強化の一環として、テロ行為などに迅速かつ的確に対応できるよう実施しているものです。

今回はテロリストが乗った船が石巻港に現れたという想定で、関係者や作業員に避難情報を周知する情報伝達訓練と、テロリストを追跡・拘束し、負傷した海上保安官を救急搬送する訓練を行いました。

今後も発生し得るテロに備え、関係機関と連携して港の安全を守ってまいります。



## 新たにスマイルサポーターを認定

当事務所では、港湾等における清掃や除草など美化活動に積極的に取り組むボランティア団体等を「スマイルポートサポーター」として認定しております。

このたび、新たに株式会社中央コーポレーション東北営業所様をスマイルポートサポーターとして認定し、平成29年10月24日（火）に認定証交付式を行いました。これで石巻港湾事務所管内のスマイルポートサポーターは16団体となりました。

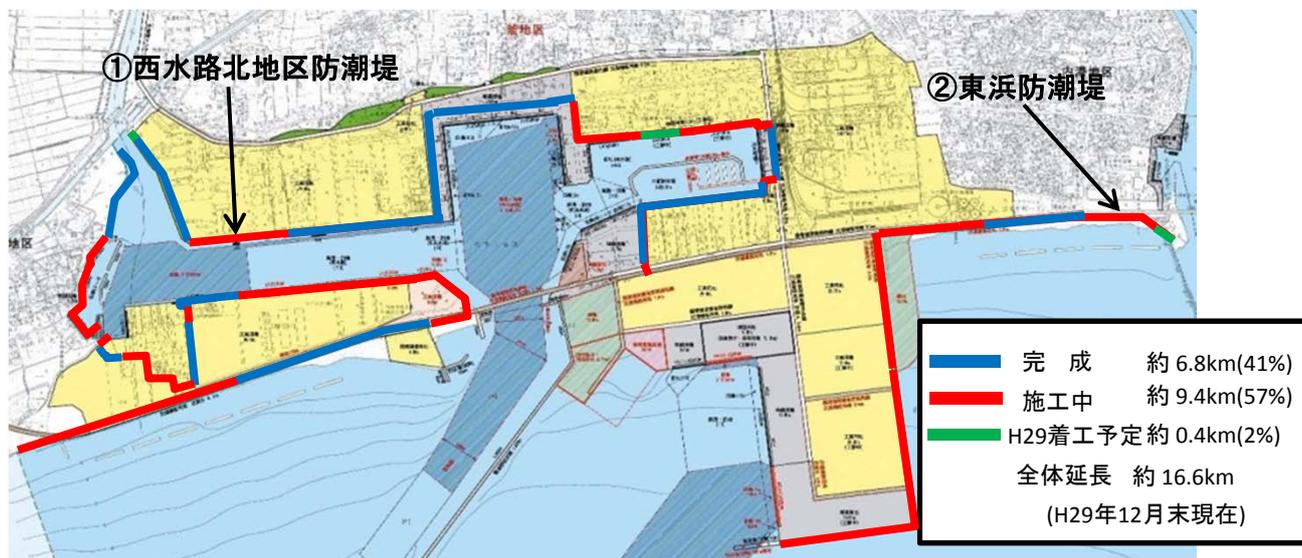


## 石巻港 復旧・復興工事(防潮堤)の状況

石巻港内の防潮堤工事は平成25年度に着手して以来、順調に進捗しており、延長ベースでは約98%において工事着手し、うち約41%が完了しています。

今後も施工現場の安全確保を図りながら、石巻港内の復旧・復興を加速させてまいります。

### ■石巻港区平面図



### ■復旧・復興工事の例-①西水路北地区防潮堤



現場：  
石巻市  
重吉町地内

工 事 名 : 西水路北地区防潮堤  
(その2)工事  
工 期 : 平成28年11月29日  
~平成31年3月25日  
請 負 額 : 2,738,732千円  
進 捗 状 況 : 約54%(H29.12末現在)

#### 【事業目的】

背後に工場や廃棄物処理施設が建ち並び西水路北地区には、もともと防潮堤が無く、東日本大震災の津波により甚大な被害が生じたことから、西水路北地区では海拔3.5mの高さの防潮堤(長さ542m)と防潮堤内外への出入りを行うための陸閘(りくこう)1箇所を社会資本整備総合交付金により新たに整備します。

陸閘については、平成29年度内での発注を予定しています。

#### 【現状と取組】

現在、防潮堤の基礎杭の施工が完了し、今後の予定として、土留となる鋼矢板の施工→中詰め石材の投入→コンクリートの打設と進行し、平成31年3月末の完成予定としています。

#### 【今後の課題】

工事は順調に進捗していますが、背後企業が近接しておりますので、引き続き安全に配慮し、御協力を頂きながら工事を進めてまいります。

## ■復旧・復興工事の例-②東浜防潮堤



現場：  
石巻市  
雲雀野町地内

工 事 名：東浜防潮堤災害復旧  
(その3)工事  
工 期：平成27年7月4日  
～平成30年3月30日  
請 負 額：1,753,891千円  
進 捗 状 況：約67.5%(H29.12末現在)

### 【事業目的】

東浜地区には、もともと防潮堤がありましたが、東日本大震災により甚大な被害が生じたことから、海拔7.2mの高さの防潮堤（長さ539m）を災害復旧事業により復旧するものです。

防潮堤の形状については、背後に道路があることから、海側に鋼管矢板を打ち込み、盛土+コンクリートブロックによる法面の被覆を行う「半傾斜堤」構造としております。

### 【現状と取組】

東浜防潮堤災害復旧工事は平成29年12月に鋼管矢板283本の打設が完了しました。

今後、止め壁工（コンクリート打設）→築堤盛土→コンクリートブロック被覆工事を進め、早期完成を目指してまいります。

### 【今後の課題】

隣接する工事もあるため、工事車両等の交通管理・安全管理に配慮し、工事を進めてまいります。

## 地方港 復旧・復興工事(防潮堤)の状況

地方港の防潮堤工事は、延長ベースでは約73%着手し、約7%が完了しています。地方港はリアス式海岸の内部に位置し、平坦部が少なく、大地震においても甚大な津波被害を受けた地域であることから、地域住民の皆様の多大なる理解・御協力を頂いて工事を施工しています。

## ■復旧・復興工事の例-伊勢畑地区 防潮堤



現場：  
石巻市雄勝町  
伊勢畑地内

### 【事業目的】

伊勢畑地区には、もともと防潮堤がありましたが、東日本大震災により甚大な被害が生じたことから、海拔9.7mの高さの防潮堤（長さ810m）を災害復旧事業により復旧するものです。

### 【現状と取組】

防潮堤の高さが約9mと従来より高いことから、防潮堤の表面に種類の異なる模様をついた型枠を使用することで視覚的なリズム感を生みだし、圧迫感や長大な印象を受けないよう工夫しています。



工 事 名：伊勢畑防潮堤災害復旧  
(その1)工事  
工 期：平成27年7月4日  
～平成30年3月30日  
請 負 額：2,241,934千円  
進 捗 状 況：約21%(H29.12末現在)

工 事 名：伊勢畑防潮堤災害復旧  
(その2)工事  
工 期：平成27年7月4日  
～平成30年3月30日  
請 負 額：1,840,710千円  
進 捗 状 況：約40%(H29.12末現在)

# 石巻港の貨物量の推移

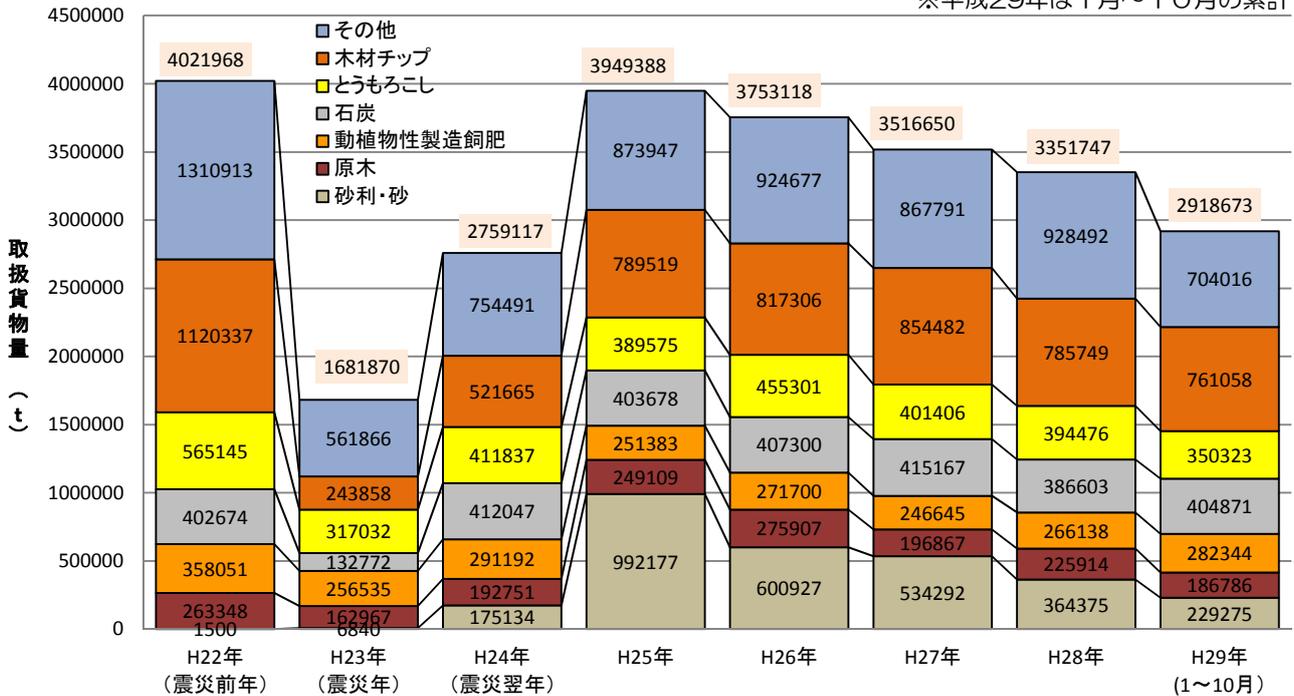
## ■平成29年の貨物量は、平成27年と同程度になる見込み

平成29年の数値は1月～10月の累計を記載しておりますが、残り2か月を加味すると、平成28を上回り、平成27年と同程度になるものと推測しています。

震災後、復旧・復興事業用資材等として砂・砂利等の取扱量が増えましたが、平成25年をピークに年々減少しており、着実に復旧・復興事業が進捗し、建設資材の需要が落ち着きつつあるものと推測しています。

1月～12月取扱貨物量累計年比較（内港含む。フェリー貨物分は除く。）

※平成29年は1月～10月の累計



# 石巻港 工業用地分譲中

## ■工業用地は、現在3地区4区画にて分譲中です



| □大曲地区  |                     |        |     |
|--------|---------------------|--------|-----|
| 区画     | 面積(m <sup>2</sup> ) | 用途地域   | 備考  |
| M-1    | 68,676.56           | 工業専用地域 | 分譲中 |
| □西浜地区  |                     |        |     |
| 区画     | 面積(m <sup>2</sup> ) | 用途地域   | 備考  |
| M-2    | 85,615.53           | 工業専用地域 | 分譲中 |
| □雲雀野地区 |                     |        |     |
| 区画     | 面積(m <sup>2</sup> ) | 用途地域   | 備考  |
| D-1    | 約 83,000            |        | 造成中 |
| D-2    | 約 73,000            |        | 造成中 |
| D-3    | 約 131,000           |        | 造成中 |
| F-3    | 44,277.80           | 工業専用地域 | 分譲中 |
| F-7    | 41,583.68           | 工業専用地域 | 分譲中 |

| 宮城県の優遇制度                 |  |
|--------------------------|--|
| ○みやぎ企業立地奨励金              |  |
| ○宮城県工業立地推進金融制度           |  |
| ○原子力発電施設等周辺地域企業立地支援事業補助金 |  |
| ○民間投資促進特区の優遇制度 等         |  |

| 石巻市の優遇制度   | 東松島市の優遇制度  |
|------------|------------|
| ○企業立地助成金   | ○企業立地促進奨励金 |
| ○上水道料金助成金  | ○工業用地確保補助金 |
| ○緑化推進助成金 等 | ○環境整備促進補助金 |

※この他にも優遇制度がありますので、下記に問い合わせ下さい。

| 問い合わせ先             |                  |
|--------------------|------------------|
| 宮城県経済商工観光部 産業立地推進課 | TEL 022-211-2732 |
| 石巻市産業部産業推進課        | TEL 0225-95-1111 |
| 東松島市産業部商工観光課       | TEL 0225-82-1111 |

---

## 富山県からの派遣職員が交代

---

当事務所は復旧・復興事業のため、事業費ベースで震災前の約30倍もの事業を行っており、地方自治法に基づき、富山県をはじめとする他県からの派遣職員の皆様の御尽力を頂いて事業を進めております。

このたび、富山県から派遣いただいていた吉江智晴さんが9月30日に離任されました。吉江さんには、平成29年4月からの6か月間、地方港の防潮堤の復旧・復興のために貢献していただきました。後任として、10月1日付けで同じ富山県から小池護さんが着任されました。小池さんには平成30年3月まで応援を頂く予定です。



離任した富山県の吉江智晴さん



後藤所長から辞令交付



着任した富山県の小池護さん



後藤所長から辞令交付

---

## 編集後記

---

新年を迎え、新たな決意で復旧・復興を進めてまいります。

また、今年はダイヤモンドプリンセスなど大型外国客船の寄港が予定されており、発展していく石巻港をお知らせしてまいります。

---

## 編集事務局

---

宮城県石巻港湾事務所

〒986-0845 石巻市中島町17-2

電話:0225-95-6271

FAX:0225-95-6273

E-MAIL:iskown@pref.miyagi.lg.jp

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/is-kouwan/>